

まずは今シーズンも多大なるご支援ご協力そして、熱い熱い声援をいただきまして、ありがとうございます。おかげさまで、最終戦でもごあいさつをさせていただきましたが、目標のプレーオフ圏内といった部分は力及ばずに達成できませんでしたけれども、J2昇格以降過去最高の順位となる10位という形で、新たな歴史を作ることができました。そして、来場者数に関しましても当クラブと致しましては、ひたむきに必死に秋田のために戦ってくれている自慢のチーム、この選手たちの姿を一人でも多くの方々に見ていただきたいという想いで、フロントスタッフは本当に1年間、様々な準備を行いやれることを一生懸命やってまいりました。皆様のご協力があって、その結果、昨対比132%、2年連続で130%を超えて平均観客動員数を大きく伸ばすことができました。これもひとえに、皆様のおかげかと思っております。

また、先程申し上げたクラブ最高順位10位というものを築けたものも、ソユースタジアムでホームゲーム中々勝てないシーズンが続いておりましたけれども、今シーズンの15勝のうち8勝はホームゲームのソユースタジアムでの勝利でございました。選手たちも口々に話してくれています。雰囲気はどんどん変わってきている、熱量が上がってきているということを選手たち自身が実感しています。そして、その期待に皆さんの思いに応えるべくといった形で、ホームゲームに対しての選手たちのモチベーションというかプライドというものが間違いなく以前と比べると上がってきたかなあと思っております。それが結果に結びついたのも皆様とともにあのスタジアムを一緒になって雰囲気を醸成できたのかなあと思っております。合わせて御礼申し上げます、ありがとうございます。

ただ、結果的には我々の目標としていたプレーオフには入ることができませんでした。これはもう完全に力不足、様々な力が不足していると感じています。今のままでは絶対にプレーオフ圏内には入れない、入れなかったという結果が突きつけられたというふうに思っております。何が足りなかったのかというと、事業規模ももちろんですけど、環境といった部分ではおかげさまで整いましたのでさらに多くの方々にご来場いただき、勝利の確率を皆様と共に高める必要があると思っておりますし、皆様とともにそれを高め今話題にあがっております「新スタジアム」の建設をしっかりと実現させる、そのうえでサッカー文化をこの地に根付かせサッカーというものがどれだけ楽しいものなのか、といったものを真剣に皆さんにもっと広く知っていただき、感じていただきながらスタジアムを青く染めて一つとなって秋田一体となって戦うことが大事かなと思っております。これは我々クラブスタッフだけでは絶対にできないことです。皆さんと一緒に築くことが重要かなと思っております。

我々クラブはスタジアム運営のコンセプトを「そこにいる全ての人が心を動かし、たくさんの青であふれた、もう一度来たいと思うスタジアムを実現しよう」ということで、ずっと取り組んできております。そういったスタジアム運営コンセプトを皆さんと共有しながら、吉田監督の言葉を借りれば「秋田一体」となってやっていくことが一歩でも近づける方法なのではないかなと思っております。

我々の事業規模で申し上げますと、今シーズンは約10億円になるかと思えます。これは株式会社ブラウブリッツ秋田、NPO・普及部門も含めて、初めて10億円に届くか届かないかといったところですが、これは昨シーズンの売り上げでいいますとJ2平均20億の半分になります。何を申し上げたいかといいますと、規模を我々がいっきにプ

ラス5億・10億と伸ばせるクラブかといいますと、もしかしたら大きな企業が参入をしてといった他クラブのような事例があるかもしれませんが、それは極めて可能性が低いことかなと。我々は着々としっかりと前に進んでいるクラブです。基礎固めをしながら、絶対に崩れない上にあがっても降格しないクラブ作りを今、地道に地道にしております。

そういった中で申し上げておきたいのは、クラブ規模間でいいますと中々プレーオフ圏内というのは簡単ではないです。ただ、秋田であれば絶対にできると私は思っています。それは先程申し上げましたように、我々だけの力では絶対に成しえない、皆さんとともに秋田一体でやっていくことが非常に重要なポイントになるのではないのかなあと思っていますので、今日のファンサポーターミーティングといったものも、一人でも多くの方々に集まっていただくため、チームの勝利の確率を1%でもあげられるような取り組みをするうえで、皆さんとの意見交換ができればと思っておりますので、宜しくお願いします。

最後になりますが、わたくし、本日はこの冒頭のあいさつのみで退席させていただきます。プレーオフを見にいったて参ります。昨年も一昨年も行っておりますが、プレーオフの戦いというのはリーグ戦とは別の戦いになります。一言でいいますと、本当にリーグ戦で戦った相手なのか、というくらい違います。あの舞台にいったて戦うチームは全く別のチームになっています。そういったものをしっかりと目に焼き付けて、会場内外の雰囲気も含めて体感をし、我々がプレーオフに進出した際の糧にできればと思っております。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。